第53回



全日本包裝技術研究大会

参加者募集のご案内

日 時: 平成27年11月19日(木)~11月20日(金)•2日間

第1日目 11:00~16:55 第2日目 9:30~16:25

場 所:『電気ビル 共創館』福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

主 催:公益社団法人日本包装技術協会

後 援:経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁

日本商工会議所·公益財団法人日本生産性本部·他関連団体

ご案内

地球規模の環境問題や急速に進展する高齢化社会への対応 等、社会的に多様化時代に入り、包装界もこのニーズに対応す べく、新しい技術の開発や研究に力を注ぐ一方、更なる合理化 や改善に対する努力も重要な課題となっています。

そこで当協会では関係各位のご高配を得て、第53回全日本包装技術研究大会をJPI各支部協力のもとに、本年は福岡市にて開催致すことになりました。

包装に関する工夫の実例や、研究開発の成果を広く発表する

と共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的とし、包装をめぐる諸問題を多面的かつ、きめ細かにとらえ研鑽する機会として開催されます。

会員各位をはじめ関係者多数ご参加下さいますようご案内申しあげます。

公益社団法人日本包装技術協会 会長 浅野 茂太郎

開催要領

主 催:公益社団法人日本包装技術協会

後 援:経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部 日本MH協会・日本包装専士会・日本包装管理士会

期 日: 平成27年11月19日(木)~11月20日(金)·2日間

【第1日目】11:00~16:55 【第2日目】9:30~16:25

会場:『電気ビル 共創館』福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

発表件数:特別講演1件/部会発表65件

部 会:輸送包装部会·食品包装部会·医薬品包装部会·化粧品包装部会·生活者包装部会·包装資材部会·電気機器包装部会·環境包装部会

参加費: (テキスト、消費税代含む)

^ B	27,000円/1名	
云貝	21,600円/1名	法人会員 1 社 3 名以上同一 申込書にて申込の場合
—船	43.200円/1名	

個人情報の取扱いについて

- 1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 第53回全日本包装技術研究大会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
- があります。
 2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

申込要領

1 参加申込方法

本紙参加申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリ(03-3543-8970)に てお申込下さい。

2 参加証

- 参加申込書が事務局に到着後、申込者各位宛に「参加証・請求書」を送付 します。
- 請求書到着後、納入期日までに参加費を指定の口座へお振込みください。
- ●出席の受付とテキストの交付は、本大会受付にて開催期間中に行いますので、参加証を当日必ず持参ください。(万一、参加証未着の際は名刺引き換えにて当日参加証を交付しますので受付へお申し出ください)

3 申込期限

平成27年11月16日(月)

4 参加費の納入方法

◆大会参加費は銀行振込にて11月18日(水)までに必ず指定口座へご納入下さい。

5 お振込先

- ●三菱東京UFJ銀行 銀座支店 当座預金 No.1634
- ●三井住友銀行 銀座支店 当座預金 No.1015080
- みずほ銀行 築地支店 当座預金 No.78448 口座名義 公益社団法人日本包装技術協会 フリガナ シャ)ニホンホウソウギジュツキョウカイ

(公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会係(担当:小橋)(経理:加納)

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル TEL(O3)3543-1189 FAX(O3)3543-8970

特別講演講師紹介



【テーマ】グローバル競争時代の日産自動車九州のロジスティクス戦略

師】日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 柴崎 康男 氏

略歴: 1956年8月31日生

1979年3月 東北大学 経済学部 卒業

1979年4月 日産自動車株式会社 入社 1994年7月 生産管理部 主担

1998年7月 欧州日産会社 出向

2002年5月 日産自動車 SCM本部SCM企画部 主管

2003年4月 同社 SCM本部車面,部品物流部

部長

生産管理部 部長 2006年4月 同社 2011年4月 タイ日産自動車会社 出向

2014年4月 日産自動車九州株式会社

代表取締役計長

【日時】平成27年11月19日(木) 11:30~12:30 【会場】電気ビル(福岡市) 4階 みらいホール

○印は発表者 ※発表当時の所属・役職です

輸送包装部会

貨物用制振器材ACトップの開発について

○全国農業協同組合連合会 営農販売企画部 営農技術センター

生産資材研究室 調査役(包装管理士) 打田 宏氏

通販商品における兼用固定パッドの包装改善

○㈱トーモク 開発営業部(包装管理士)

美希 氏

ルームエアコン用軽量化包装の開発

○パナソニック㈱ アプライアンス社 エアコン事業部 RAC開発グル-

主任技師 本田 透氏 レンゴー(株) 滋賀工場 営業部 剛氏 渡部

ワンタッチ瞬間ブロックの開発と適用事例

○アイロップ(株) 包装技術部 羽原 祐介 氏

ブリスボックスの解体案における改善事例

○㈱トーモク 開発営業部(包装管理士) 金丸. 正明 氏

段ボール箱の含水率に基づいたリスクマネジメントの提案(第3報)

○レンゴー㈱ 包装評価センター 部長代理(包装専士) 哲氏 東山 レンゴー(株) 大阪包装技術センター 尾上ちあき 氏 ハウス食品グループ本社(株) 中央研究所 容器包装開発部

薄物板用エッジ保護材「PEPAC(ペパック)」の開発

○太陽インダストリー(株) 段ボール事業部 包装技術課 係長(包装管理士) 小田 篤史 氏

レンゴー・スマート・ディスプレイ・パッケージング『RSDP』の包装形態開発

○レンゴー㈱ 包装技術部 東京包装技術センター 課長(包装専士) 西川 洋一氏

電気機器包装部会

デジタル印刷の活用による、顧客の期待に応える商品力の実現

○ソニー(株) V&S事業本部 共通設計部(包装管理士) 田部井有子 氏

食品包装部会

φ28mm飲料PETボトル用軽量キャップの開発

○日本クロージャー㈱ 開発本部 技術開発部 第一技術開発室 係長(包装管理士) 大岡 新治 氏 アサヒ飲料(株) 技術部 技術開発グループ 課長アサヒ飲料(株) 技術研究所 生産技術グループ 羽豆 俊哉 氏 孝文 氏 大脇

フィルムの二重包装による生鮮食品の最適空間の設計

○フタムラ化学㈱ フィルム事業部 開発チーム 係長(包装専士) 花市 岳氏

KAGOMEスマートPETボトルの設計開発について

○カゴメ㈱ 研究開発本部 CSセンター 商品技術部 担当(包装管理士) 瓜生田貴聡 氏 深絞り透明容器に発生した外観不良の改善検討

○日本合成化学工業㈱ 研究開発本部 加工技術開発センター(包装管理士) 井上 耕太 氏 日本合成化学工業㈱ 研究開発本部 加工技術開発センター 小室 綾平 氏

包装資材部会

電子レンジ用包材「易剥離サセプター」の開発

○凸版印刷㈱ 生活環境事業本部 商品開発部 上村 光佑 氏

乾燥条件下に適用可能な脱酸素包装材料の開発

増田 章宏 氏 ○=菱ガス化学(株) 特殊機能材力ンパニー 研究開発センター E菱ガス化学(株) 研究開発センター 主任研究員 新見 健一 氏 三菱ガス化学(株) 研究開発センター 河合隆一郎 氏

三菱ガス化学(株) 研究開発センター

環境包装部会

ツ矢サイダー向け国内最軽量カートンの開発

○アサヒ飲料(株) 技術研究所 生産技術グループ 古原 徹氏 主任

生活者包装部会

デザイン心理学を活用したオムニパークシリンジのラベルデザイン開発

○第一三共㈱ 製剤技術研究所 包装研究グループ 主任研究員(包装管理士) 安東 幸弘 氏 第一三共㈱ 製剤技術研究所 包装研究グループ グループ長 片山 通博 氏 千葉大学大学院工学科 デザイン心理学研究室 教授 ㈱BB STONE

> デザイン心理学研究所 技術顧問 日比野治雄 氏 青山 華子 氏

千葉大学工学部 デザイン心理学研究室

サランラップ®パッケージのリニューアルについて ○旭化成ケミカルズ㈱ 樹脂総合研究所 ホームプロダクツ技術開発部 佐々木美子 氏 旭化成ケミカルズ㈱ 樹脂総合研究所 ホームプロダクツ技術開発部 主幹研究員 向原 隆文 氏

使い心地と高気密性に配慮した広口耐油性容器の開発

○花王(株) 包装容器開発研究所 佐藤 千織 氏 花干(株) 相良 幸一 氏 門脇 剛氏

ニックス(株) 化粧品包装部会

新剤型リキッドファンデーション用容器の開発

商品デザイン部 設計課 ○(株)コーセー 宮下雄一郎 氏 商品デザイン部 -ヤー 設計課 荒井 ㈱コーセー 橋本

海外商品部 設計課

商品デザイン部 設計課 専任専門職 ㈱コーセー 商品デザイン部 ㈱コーセー

今別府繁人 氏 藤井幸司 F.

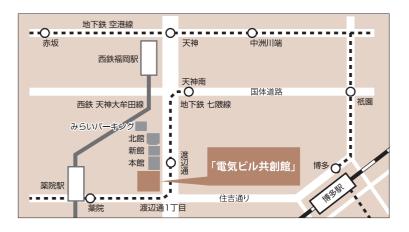
啓氏

幸弘 氏

田口

惇悟 氏

ヽのアクセス



JR博多駅バス停A番より乗車→渡辺通1丁目降車すぐ 天神大丸前バス停4より乗車→渡辺通1丁目降車すぐ

タクシー

- ・天神より5分・JR博多駅より7分
- ・福岡空港より25分

●雷車

西鉄薬院駅より徒歩5分

●地下鉄

七隈線 渡辺通駅(電気ビル本館B2Fへ直結)

注) お車をご利用の場合、駐車料金は各自ご精算下さい

第53回 全日本包装技術研究大会申込書

*本線太枠内に必要事項をご記入の上、〈FAX: 03-3543-8970〉にお送り下さい

No.

貴 社 名			法人会	員 ・ 個人会員	• 一般	(いずれかに必ず	○をつけて下さい)	
申込み責任者		所属部署				TEL		
所 在 地	(〒 −)				FAX		
参加番号	番号 参加者氏名 所属/e-mail		il / TEL / 所在 ^は	地 1) *参加証及び請求書の送付	先が上記と異なる場合のみ記ん	入下さい	参 加 費	
①		(所属)		(所在地) 〒		 -(参加費) ¥		
		T		e-mail		→ (参加員) ∓		
2		(所属)		(所在地) [〒] e-mail		(参加費) ¥		
							(3) (4)	
₩ 1		e-mail			→(参加貫) 羊			
(所属) (所属)		(所在地)〒 e-mail (所在地)〒		- (参加費) ¥				
					(女hn書) V			
					(5)	₽		
複数名参加	ー括請求アンケート ²⁾	各参加者の参加費を合算	し一括請求します	か? する	・しない		(合 計) ¥	
参加費の振込予定アンケート		A月日に振込み B. 請求書到着後 日以内に振込み C日メ日払い						
参加費の振込方法アンケート		A. 請求書金額毎個別 B. 申込書合計金額一括 C. 所属別に小計して組に分割 ※小計する組合せが分かるように余白に記入して下さい						
部会の参加予定アンケート ³⁾		11月19日(木) ■特別講演	名 ■輸送包	裝部会名 ■生活者包	装部会名 ■食	品包装部会名	■資材/環境包装部会名	
		11月20日(金) ■輸送包装部会	名 ■電気機器	器/輸送包装部会名 ■生	活者包装部会名 ■	食品包装部会名	■医薬品/化粧品包装部会名	

- 1) 参加証と請求書は各参加者宛てに送付致します。各参加者の送付先(所在地)が異なる場合は、各参加者の「所在地」欄に送付先を記入しご指示下さい。
- 2)複数名お申し込みを頂いた際、参加費の一括請求を希望される場合は、アンケート欄の「する」に○を付けて下さい。尚、その際の請求書は上記「申込み責任者」様宛に送付し、参加証は各参加者宛てに送付致します。
- 3) 聴講されたい部会の箇所に両日人数を記入して下さい。尚、人数を記入頂いた部会以外も聴講頂けます。

取 扱 銀 行 三井住友銀行 銀座支店 当座預金No.1015080 又は、三菱東京UFJ銀行 銀座支店 当座預金No.1634、みずほ銀行 築地支店 当座預金No.78448 口座名 公益社団法人日本包装技術協会 フリガナ名 シャ)ニホンホウソウギジュツキョウカイ 参 加 費 1名につき ●法人・個人会員@27,000円 ●特別割引価格 @21,600円 *同一申込書にて3名以上同時申込の場合に限る ●一般 @43,200円

第53回全日本包装技術研究大会 は き: 平成27年11月19日(木)・20日(金) 主 催: 公益社団法人日本包装技術協会 後 援: 経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部・他関連団体

○la						
		10:30~	受 付 開 始		<u> </u>	▶ Post till till till till till till till ti
	11:	00~11:05	開 会 挨 拶 公益社団法人日本包装技術協会 西日本支部長 安武 正文			
	111	05~11.25	前回優秀発表者表彰式		- ホール (4F) 章	
		30~12:30		日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 柴崎 康男 氏	要	
	_	30~14:00		S TITELDO-TO THAT SALE TOX AND KILLS ARE MOST FO		
		究発表部会名	生活者包装部会 ホール(4F)	食品包装部会 A会議室(3F)	資材・環境包装部会 B会議室(3F)	輸送包装部会 C会議室(3F)
	- M		中込 隆氏 大日本印刷㈱ 包装事業部 市場拡大促進本部(包装専士)	阿曽 政志 氏 (株)メリーチョコレートカムバニー 生産本部 製品開発室 包装開発部 部長(包装専士)	道明 誠氏 ㈱ジーシー 研究所 課長(包装管理士)	武田 正臣 氏 三菱電機㈱ ロジスティクス部 技術G 専任(包装専士)
1	発表時	調帯	浦川 英三 氏 ㈱旭紙工 業務部 マネージャー(包装専士)	日高 和弘 氏 ㈱J-オイルミルズ SCM業務部 資材部 部長(包装管理士)	中村 充利 氏 旭化成ケミカルズ㈱ 樹脂製品事業部 フォーム製品営業部 課長(包装専士)	藤井 幸則氏 オリンパス㈱ 物流推進部 企画・管理グループ 課長(包装専士)
J.F.		14.00 14.05	触動作センサーを活用した「使いやすい」バッケージ開発について	輸送振動軽減容器の開発と実用化推進提案	ワンウェイ用減容ポトルの開発	「国際リターナブル包装」の開発
19日(木)		14:00~14:25	大日本印刷機 包装事業部 企画本部 リサーチ&ブランニング戦略室 ヒューマンリサーチチーム リーダー 〇安田 尚司 氏	東京バック 新 技術・品質 顧問 ○場内 康夫 氏 東京バック 新 富森 記長 高森 和重 氏 東京バック 新 高森 和重 氏 東京バック 新 高森 和重 氏 立共 海和 氏	花王琳 包装容器開発研究所 〇大西 洋 氏 花王琳 包装容器開発研究所 網田 淳一 氏	京セラドキュメントソリューションズ側 技術本部 MD28課(包装管理士) ○船木 敬一氏
	9	14:30~14:55	狙ったところに吐出しやすい「洗口剤用下向きノズルボンブ」の開発	氷点下飲料商品の提供システムの開発	低コストな宅配用緩衝包装の開発について 全国農業協同組合連合会(JA全農) 営農販売企画部 生産資材研究室(包装管理士) ○打田 宏氏	超低温コールドチェーンマネージメント ㈱日立物流 ソリューションエンジニアリング部 主任技師 ○渡辺 隆史 氏
		14.00 - 14.00	ライオン㈱ 包装・容器技術研究所 加藤 啓育 氏	アサヒ蛇科綱 技術研究所 生産技術グループ 生産プロセスチーム チームリーダー		
	3	15:00~15:25	ビール・RTD毎用2次包材の軽量化 キリン側 B&D本部 パッケージング技術研究所 ○會田 裕佑 氏	デザイン性と作業性を両立した果実のフィルムバッケージ ㈱精工 営業企画部 部長 ○大枝 麻由 氏	台紙シュリンク パリエーション展開 □ 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 商品開発部3T ○高橋 志歩 氏	海上および陸上輸送における設計システムの運用と固縛技術の確立について 山丸(8) 技術・開発部 技術開発グループ(包装管理士) 〇伊藤 雅浩 氏
		10.00 10.20	王子コンデナー総「営業本部 CS推進部 小林 曽弘 氏			山刀線 技術・開発部 技術開発グループ(20装電理士) 山刀線 技術・開発部 技術開発グループ グループマネージャー エコ 上巻 氏 山刀線 技術・開発部 技術開発グループ グループ 本地 氏
	4	15:30~15:55	耐油性ポンプの開発 花王㈱ 包装容器開発研究所 ○青山 涼平 氏	井村屋ゴールドあずきパーシリーズ バッケージデザイン賞 受賞をうけて 井村屋㈱ 開発部 デザインマーケティングチーム チーム長(開発部長代理) ○松崎 秀央 氏	段ポール・紙器バッケージ市場におけるデジタル印刷のトレンドと事例紹介 ㈱日本HP ワイドフォーマットビジネス事業本部 ビジネス開発マネージャー ○永嶋 ゆり 氏	合板パレットの設計形状最適化手法の開発 リコーテクノロジーズ側 第一設計本部 第一PM室 PM4グループ(包装管理士) ○末廣 真也 氏
	\vdash		(明吉野工業所 バルブモールド容器の魅力について	「特選本香りねりスパイス」シリーズの包材改良	新規ポリエステルフィルム(OPBT)の包材としての特徴及びその可能性	パレット陳列用外装形態の開発
	5	16:00~16:25	グイナバック側、開発本部 CSC 主事(包装管理士) - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1付2数中間があり入いて入」グリー人の区的以及R ハウスを急がルーフェイと前側・中央研究所・各部で支間発部・チーフ研究員(包装寺士) (常藤 等 氏 東洋記簿館) アウニカル本部 プラステック技術部 (特合 広板印刷解 四日本事業本部 関西生き 産業事業部 南品開発部 下す 黄格氏 下す 黄格氏	初放パンエハ アレイドレス (UFDI) (UFDI	イング 「WOT JIT J PROD 280 J J J T
	\vdash		(株) サインフィル プログウ・ブルーフ 生産型当 (株) サインフィル プログウ・ブルーフ 生産型当 (株) 東京 民	○ 「公成日前別 然日本事業本部 阿烈生活・産業事業部 両品開発部 下野 資裕 氏 横層フィルム K における適正シール強度発現条件の検討	東人ノイルムタフェカルス側 研究部長 石原曲 氏 石原曲 郎 氏 日産最軽量2.04gキャップの開発	花玉鉤 包数音器開発研究所 版內 菜种 民 "威喋"開閉BOX「PON—PA」の開発
	6	16:30~16:55		キリン側 R&D本部 バッケージング技術研究所(包装管理士)	サントリービジネスエキスパート(株) 新包材技術開発推進部 〇櫻井 拓也氏	TOTO(株) 衛陶設計部 衛陶生産設計グループ(包装管理士) 〇石田 直樹 氏
	£113	究発表部会名	生活者包装部会 ホール(4F)	食品包装部会 A会議室(3F)	輸送包装部会 B会議室(3F)	電気機器・輸送包装部会 C会議室(3F)
			内野 泰秀 氏 武州製薬㈱ 包装部 部長(包装専士)	今田 克己 氏 日本包装コンサルタント協会(包装専士)	高橋 二朗 氏 城日立システムズ 保守事業推進本部 ロジスティクスセンタ サービスマネジメントグループ(包装専士)	瀬戸上 裕氏 京セデキュメントソリューションズ側 技術本部 プリンター統括技術部 第25技術部 部責任者(包装専士)
	発表時	_	大西 誠 氏 凸版印刷梯) 九州事業部 販促開発部(包装管理士)	速藤 明子 氏 三笠産業㈱ 環境品質保証部 部付部長(包装管理士)	澤田 幸美 氏 ダイナバック(株) 開発本部 本部長付部長代理(包装管理士)	鈴木 雅彦 氏 ㈱東北ウエノ 代表取締役(包装専士)
		9:30~ 9:55	紙器箱における易開封ジッパー形状の開発 レンゴー機 開発本部 包装技術部 大阪包装技術第二課(包装管理士) ○上村 鉱樹 氏	レトルト食品(和風惣菜の素)のトータルバッケージ改良 キッコーマン食品) 関 商品開発本部 設備開発部 容器包装開発チーム 主査(包装管理士) ○渡部 寛之 氏	航空輸送される保令包装の合理化事例 石塚包装設計・開発事務所 代表(包装専士) ○石塚 義夫 氏	大型複写機包装の紙製ジョイントロック開発 リコーロジスティクス(例) 生産物流事業本部 事業開発部 包装設計課(包装管理士) 〇野坂 智利氏
	11.1	3.30° 3.33	レノコー株 開光本部 包装技術部 人阪包装技術ポー味(包装管理工) し上村 私倒 氏	キツコーマノ及の例 向の開光中部 設備用光部 谷器ご装開光デーム 土直(ご装官理工) ○汲部 見之 以	□ 石塚包装設計・開発事務所 代表(包装専士) ○石塚 義夫 氏	
						ハ 監接 予成 己女 ツ 報報 インエン ア・ロンブ 旧か カ リコーロシスティクス機 生産物流事業本部 事業開発部 包装設計課(包装管理士) ○野坂 智則氏 中割けで表工業例 リコーデクノロシース機
	٦	I∩·00~10·25	人と地球に優しいパッケージの実現に向けた包装設計 ~花王の清掃道具商品の包装仕様の変遷~	「衣玻璃」の開発ストーリー 南洋ガラス前、営業制総領、営業制総理 ○115歳優条理 F	ISO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測	太陽熱温水器の包装改善
	2	0:00~10:25	花王㈱ 包装容器開発研究所(包装管理士) ○濱野 裕氏	東洋ガラス㈱ 営業戦略部 営業戦略課 ○加藤優香理 氏	ISO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルデアエンジニアルング側 テクニカルコンサルケント エグサーチ側 代表版制で 馬木 揺広 氏	大陽熱温水器の包装改善 大陽インダストリー側 段ボール事業部 営業部 包装技術課 課長(包装管理士) 〇小田 篤史 氏
	\vdash	10:00~10:25 10:30~10:55	花王期 包装容器開発研究所(包装管理士) ○演野 裕氏 新郷シール形状の響子レンジ対応Jトルトパウチ	東洋ガラス類 営業戦略部 営業戦略課	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエンジニアリング物 テクニカルコンサルタント	大議教選小器の包稿公舗 大端インダスリー側 段ボール事業部 営業部 包装技術課 課長(包装管理士) 〇小田 篤史氏 小説開田以上は「STP*なかしば「D開発
	\vdash		花王朔 包装容器開発研究所(包装管理士) ○瀬野 裕氏 新規シール形状の電子レンジ対応レトルトパウチ 大日本印刷例、包装事業部 削売本部 製品開発部 ○田中 大介氏	東洋ガラス剣 営業戦略部 営業戦略課	SO路面ラフネステータを利用した輸送振動の予測 アルデアエンジニアリング物 テクニカルコンサルタン 電気	大開発地が表の色数な響
	3		在正則 金姿容器原発研究所(包装管理士)	東洋ガス側 営業報節部 営業報節報 (大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエンジニアリング報 テクニカルコンサルタント エグサーデ制 代表原稿校 高末 指広 氏 実施法データに基づ、無動試験条件の導出に関する考察 アイテックス別 営業技術店 (大原 原 高原 原 日	大関熱温水器の包装改造 大陽イクタストー機 段ボール事業部 営業部 包装技術課 課長(包装管理士) 〇小田 篤史 氏 小管置用レイ(Sロックトレイ)の開発 日本 100 日本
	3	10:30~10:55	在正則 金装容器開発HJDが再位 接管理士)	東洋ガス側 営業報節部 営業報節器 (2) (1 (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエゾニアリング領・テクニカルコンサルダント エグサーデ領・代表原物で、	大規模組み接の包蔵改造
1	3	10:30~10:55	在正期 台級容器開発研究所(日装管理士)	東洋ガス側 営業報酬部 営業報酬報 () 加藤優香理 氏 () 「ハーソナルドリップーヒー用カップオンドリッパ(への開発 味の)素セスラルフーツ側 合材制度部 (包装等士) () 20川 英之 氏 大記事物 前の現代記 () 20円 大記事が 日本の第一年 () 20円 大記事が 日本の第一年 () 20円 大記書 () 20円 新也 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエンジニアリング報 テクニカルコンサルタント エグサーデ制 代表原稿校 高末 指広 氏 実施送データに基づ、無動試験条件の導出に関する考察 アイテックス別 営業技術店 (大原 原 高原 原 日	大関熱温水器の包装改造 大陽イクタストー機 段ボール事業部 営業部 包装技術課 課長(包装管理士) 〇小田 篤史 氏 小管置用レイ(Sロックトレイ)の開発 日本 100 日本
1' F	3 4 5	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55	在正期 台級容器開発研究所(台級管理士)	東洋ガス側 営業報節部 営業報節器 (2) (1 (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ISO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエンジニアリング第 テクニカルコンガルタント エグリーデル 代表助は時代の導出に関する考察 実施送データに基 X、振動は除条件の導出に関する考察 の選手が感 係長	大関熱型大器の包装改造 太陽インダストリー側 段ボール事業 営業部
1 ¹ 月 20	3 4 5	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30	在正期 白被容器照用规师(自装管理士)	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部 日本報報 (SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエゾニアルノヴォーテクニカルコゾカルタント エグカーデ列 代表販売機会件の導出に関する考察 大き数データに基づ、無動拡発条件の導出に関する考察 アイデックス別 高美技術館 大会 海接 海接 海接 海接 海底 京本 海底 京本 海底 京本 海底 京本 海底 海底 海底 海底 海底 海底 海底 海	大関熱型大器の包装改造 大展/フタストー側 段ボール事業部 営業部 包装技術家 課長(包装管理士) ○小田 篤史 氏 小智麗用レイ(Sロックトレイ)の開発 ・ 日本
E	3 4 5 11:	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名	在正則 包接容器照用知所(包装管理士)	東洋ガス側 営業報酬部 営業報酬報 () 加藤優香理 氏 () 「ハーソナルドリップーヒー用カップオンドリッパ(への開発 味の)素セスラルフーツ側 合材制度部 (包装等士) () 20川 英之 氏 大記事物 前の現代記 () 20円 大記事が 日本の第一年 () 20円 大記事が 日本の第一年 () 20円 大記書 () 20円 新也 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ISO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエンジニアリング第 テクニカルコンガルタント エグリーデル 代表助は時代の導出に関する考察 実施送データに基 X、振動は除条件の導出に関する考察 の選手が感 係長	大関熱型大器の包装改造 太陽インダストリー側 段ボール事業 営業部
E	3 4 5 11:	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名	在正期 台級容易開発研究所(白装管理士)	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部 日本報報 (小一ナルドリッパーの開発 はの素せスシルンーツ側 つ材限用部 (包装を上) ス大応無準期 研究開発部 (包装を上) ス大応無準期 研究開発部 (日本報刊) 20月1年 (日本 日本 日本) 20月1年 (日本 日本 日	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテアエゾニアリング領・テクニルルコナリルダント エグリーデ列・代表原制校 南条 指版工 氏 実施法データに基づ、無動試験条件の導出に関する考察 アイテツクス別 第美技師	・
	3 4 5 11: 研	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名 コーディネーター 問帯	在正知 台級容易照用知所(白級管理士)	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部	ISO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテエンジニアリング側 デクニカルコンサルタント エグリーデル 代数即時後 原来 第広 氏 東東法データに基	大開発加入者の包装改造
E	3 4 5 11: 研	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 155~13:30 究発表部会名 コーディネーター	在正期 台級容易照用知所(白級管理士)	東洋ガス側 営業報節部 営業報館 「ハーナルドリップーと一用カップオンドリッパーの開発	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルテエンジニアリング側 デクニカルコンサルタント エグリーデル 代表拠1時後 円 発動に関する考験	大開発加入者の包装改造
E	3 4 5 11 研	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 155~13:30 25表験会名 ユーディネーター 時間帯	在三期 会会容認照是批別所(包装管理士)	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部 営業報路部 (日本 日本 日	ISO路面ラフネステータを利用した輸送振動の予測 アルデエンリニルリング場、デウニルルコンガルタント エンガニー物 「大規則機・ アルニルンガルタント 東東 大規則機・ 大規則機・ 大規則機・ 大規則を発する 大規則を発する 大規則を発する 大規則を発する 大規則を発する 大規則を発する 大規則を表する 大規則を表する	大開発過少者の包蔵な機
E	3 4 5 11 研	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名 コーディネーター 問帯	在正期 白被容器照見形所(白装管理士)	東洋ガス側 営業報節部 営業報館	ISO路面ラフネステータを利用した輸送振動の予測 アルデエソコニアリング第 テクニカルコンガルタント エグロニアリング第 テクニカルコンガルタント 末	大開発地がありを設立機
E	3 4 5 11 研 発表形 1 2	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 155~13:30 25表験会名 ユーディネーター 時間帯	在正知 会務容調照用研究信息装御批力 () 高野 裕氏 新規シール形状の確子レンジ対応レトルドパクチ 大日本1回原 改修寿策節 剛定本部 製品開発部 () 田中 大介氏 台所 用洗剤「CHARMY Magica」の開発 ライオン物 台表 日本設計・前外所(包接管理士) () 小磯 晶子氏 日本	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルデアエンジニアリング第 テクニカルコンサルタント エグリーデ列 代表処理機会 高末 指広 氏	大震が発生という。 大震・クラス・レー戦 技術・クラス・レー等を 営業部 ごを技術課 課長 (包を管理士) ○小田 東史 氏 小管運用・レイ(SDエクトレー制 投析・ル事業部 営業部 ごを持ち続き
E	3 4 5 11 研	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名 ユーディネーター 脚帯 13:30~13:55 14:00~14:25	在三郎 白教育器剛見和所作(自教管理士)	東洋ガス側 営業報路部 営業報路部 () 加藤優香理 () () () () () () () () () (SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルデアエンジニアリング第 テクニカルコンサルタント エグリープ制 代表処理機会 株 指広 氏	大震が無力を終りを被交換 大展イグタントー機 段ボール事業部 営業部 包巻技術課 課長(包巻管理士) ○小田 東史氏 小管運用トレイ(SDエクトレイ)の開発 「日本 日本 日
E	3 4 5 11 研 2	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 :55~13:30 究発表部会名 ユーディネーター 脚帯 13:30~13:55 14:00~14:25	在正期 台級容易照見批析所(白装管理士) の満野 裕氏 新規シール形状の電子レンジ対応レトルトパクチ 大日本口間側 合送骨乗節 前見未む 製品開発部	東洋ガス側 営業報節部 営業報館部	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測 アルデアエンジニアリング第 テクニカルコンサルタント エグリーデ列 代表処理機会 高末 指広 氏	大震が発生という。 大震・クラス・レー戦 技術・クラス・レー等を 営業部 ごを技術課 課長 (包を管理士) ○小田 東史 氏 小管運用・レイ(SDエクトレー制 投析・ル事業部 営業部 ごを持ち続き
E	3 4 5 11 研 2	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 15:55~13:30 ア発表制会名 - アネネター 調帯 13:30~13:55 14:00~14:25	在正期 台級容易照用批析信息被害性力	東洋ガス側 営業報節部 営業報館部 (日本 日本 日	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測	大開発加入者の心臓など 大限・プタブルー機 段ボール専業 営業部 営巻技術課 課長(含巻管理士) ○小田 東史 氏 小容量用トレイ(Sロックトレイ)の開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
E	3 4 5 1113 研 2 2 3	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 15:55~13:30 ア発表制会名 - アネネター 調帯 13:30~13:55 14:00~14:25	在主動 色装容器開発研究所(色装管理士) 新規シール形状の電子レンジ対応レトルトパクラチ 大日本心間側 密接等策略 耐発未営 製品開発部 一田中 大介 氏 台所用洗剤(CHARMY Magical Jの開発 ライオン制 合装・音器技術研究所(包装管理士) 基 食 休 糖 医薬品・化粧品包装部会 ホール(4F) 山崎 周之 氏 丸塊を実明 明光常 市場開発ガループ グループレーター(包装管理士) 北崎 周之 氏 丸塊を実明 明光常 市場開発ガループ グループレーター(包装管理士) 本井 和家 氏 (公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 所長 葉 生活者包装研究堂 室長(包装専士) 新規製業製成型高水料も開発。 「新規製工作・大学の場合・連手を表現できる管路 制プン・ファイクで、大学である。 第月 1 日本 包装管器開発研究所 3 室	東洋ガス側 営業報節部 営業報館部	SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測	大開発地子教の伊敬な権 大展・クタンリー機 段ボール専業 営業部 包装技術課 課長(包装管理士) ○小田 東史 氏 小容量用トレイ(Sロックトレイ)の開発 上記書 1世 日本
E	3 4 5 111 研: 9 5 11 2 3 4	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 11:30~11:55 11:30~13:30 7.749 13:30~13:55 14:30~14:25 14:30~14:55 15:30~15:55	在王柳 白被容器照見研究所(包装管理士) 新規シール形状の確子レンジ対応レトルドパクチ 大日本刊回溯 包装等策節 剛定本部 製品開発部	### ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	SO路面ラフネステータを利用した輸送振動の予測	大関熱型水製の包蔵な管 大限インタメリー側 段ボール事業部 営業部 ②後技術課 課長(②後管理士) ○小田 東史氏 小管運用トレイ(3Cロンケ)レイ(の開発 ・ 1 回 1 回 1 回 1 回 1 回 1 回 1 回 1 回 1 回 1
E	3 4 5 111 研: 9 5 11 2 3 4	10:30~10:55 11:00~11:25 11:30~11:55 11:30~11:55 155~13:30 究発表的会名 ユーディネーター 脚帯 3:30~13:55 14:00~14:25 14:30~14:55	在王柳 白被容器照見研究所(包装管理士) 新規シール形状の確子レンジ対応レトルドパクチ 大日本刊回溯 包装等策節 剛定本部 製品開発部	東洋ガス側 営業報務部 営業報路 (SO路面ラフネスデータを利用した輸送振動の予測	大脚焼油が高の色板で整 大屋・グタブルリー戦 段ボール事業 営業部 色巻技術課 課長(色巻管理士)